

## 武庫川 住民説明会 アンケート

本日は、武庫川 住民説明会に参加いただき、ありがとうございました。

ご意見がございましたら、下の欄に自由にご記入の上、出入口に設置しています『意見箱』に投函してください。

(後日改めて(1ヵ月程度)、下記宛に FAX や e-mail などでご意見をお寄せいただいても結構です)

兵庫県 県土整備部 土木局 武庫川企画調整課 総合治水係

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

FAX : 078-362-3942

e-mail : mukochosei@pref.hyogo.jp

**(記入欄)**

＜項目例＞

- ・ 今後、武庫川でめざすべき河川整備の目標・水準について
- ・ 流域対策 (学校、公園、ため池、水田における雨水の一時貯留) について
- ・ 既存ダム (青野ダム、千疋ダム、丸山ダム) の治水活用について など

アンケート市民センターでの説明、御礼を申し上げます。

市民の積極的な協力を求めるのであれば、もっと洪水氾濫の危険と共感出来るような、解かりやすい資料と説明が必要だと思います。今後御礼はしますが、再度御礼はするので、よろしくお返答をお願いします。

(I) 提言書では、河川整備の目標や対策効果を、甲武橋基準臭の流量 m<sup>3</sup>/s で表わっていますが、実感されません。参考として、推定水位も併記していただきたい。

- (II) 武庫川流域の基準地臭(甲武橋と三田市下田中)の平成16年の、
- ① 実測、月別平均流量水位、月別最高流量水位、月別最低流量水位、最寄地の月別平均雨量、月別最高雨量、月別最低雨量
  - ② 台風23号時の最高流量水位及び雨量
  - ③ 流量、水位が乏乏の地臭で何程になると洪水氾濫になるのか。

(III) 下田中の下流に県の下水処理場がありますか。田中基準臭の流量、水位がどの位で排水に影響を及ぼすのか、処理不能にはならないか。

お名前、ご連絡先を差し障りのない範囲で記入してください。

以上

お名前

ご連絡先

住所

電話

Fax

## 武庫川住民説明会に参加して

兵庫県の職員の皆様 説明会大変ご苦勞様でした。

農業を営む者として、又、流域住民として、下流域氾濫区域の人々の想いも考え、私個人としての意見を述べさせていただきます。

説明会当日は色んな思いがありましたが、こんな場で言っているのか迷い結局言えませんでした。

### ◎ 水田への一時貯留について

私の父は、田植えがおわってから、よく稲の顔を観てくると言っていて、日に3回は田んぼの周りを廻っていました。そして、ことしの稲は元気がいいとか、病気にかかっているとか何時も口にしていました。そして、稲は主人の顔を見て育つ、足音を聞いて育つ、子供と一緒にや、と言っていました。実際に自分で全ての作業をやるようになってからは、そこまでは行きませんが、何となく分かるような気がしてまいりました。

そこで、今回の一時貯留についてですが、この様な思いで育てているのに、水稻であれ、野菜であれ、溺れさすようなことができるのか。補償金うんぬんではない。暑い時も、寒い時も大した利益にならないのに、こつこつと育てているのに。たぶん、この様なことを思われるのは私だけではないと思います。

又、梅雨や台風時期で、大雨が降ると予想される場合、畦が崩れないよう、殆んどの方が水を落とされます。それは、自分の田は勿論のことではありますが、むしろ、崩落することによって他の人に迷惑がかかると大変だからです。今回、水を貯めるとなるとそのことが心配です。

稲刈り作業はコンバインで作業を行います。このコンバインも大型化され、乾田をしておかないと、はまってしまったり、故障が発生したりと作業出来なくなります。よって、早くから水抜きのための水路（ほりあげ）を暑いときに、大変な作業ですが行います。

※ このようなことから作付けされた田に、一時的といえども水を貯めることには理解しかねます。その代わりに、減反のために作付け出来ない農地が約37%あります。これらの場所を特定し、そこに水を貯めるということであれば了解が得られると思います。

### ◎ ため池貯留について

減反政策で灌漑ため池として、必要でない池がたくさんあるのではと思います。これらを各集落で調査、報告し、まとめれば把握できるのではと思います。その池であれば、1mといわず相当水位を下げることは可能だと思います。それでも、不足する場合は、集落で検討し、箇所を決定し、ため池を改造すればいいと考えます。

又、大規模な洪水が予想される際に・・・とありますが、雨は何時降るか分かりませんし、山の中で遠い場合、しかも、夜となると行動が出来ません。よって、用水として必要なくなる9月頃より、雨が予想されようとなかろうと5割か6割水位を下げておく。其のためには、斜樋構造を改良し、5割程度の水深位置に斜樋管を設け、落水を行う。そして、大雨の場合で一定以上の雨が降れば池に水が溜り、洪水機能の役目を果たす。というのはどうでしょう。

※ これらの理解と合意を得て、それからの工事となると何年かかるか分かりませんが、最近の異常気象は本当に心配です。下流域で氾濫区域に住んでいれば一刻も早く、この不安を取り除いてほしいと思うのは当然です。

勝手な思いを書いて申し訳ありません。しかし、実施にむけた説明会、とりまとめを行うとなれば必ず出てくる意見だと思います。